

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【公開番号】特開2013-245372(P2013-245372A)

【公開日】平成25年12月9日(2013.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-066

【出願番号】特願2012-119256(P2012-119256)

【国際特許分類】

C 2 3 C	16/26	(2006.01)
C 0 1 B	31/02	(2006.01)
H 0 1 L	51/50	(2006.01)
H 0 5 B	33/10	(2006.01)
C 2 3 C	14/24	(2006.01)

【F I】

C 2 3 C	16/26	
C 0 1 B	31/02	1 0 1 Z
H 0 5 B	33/14	A
H 0 5 B	33/10	
C 2 3 C	14/24	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月17日(2015.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有機化合物を蒸着用ルツボの内壁表面全体に付着させた後、減圧下で前記蒸着用ルツボを加熱することにより、前記蒸着用ルツボの内壁表面に炭素を含む膜を形成することを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項2】

有機化合物が分散した溶媒、または前記有機化合物が溶解した溶液で蒸着用ルツボの内壁表面全体を濡らした後、減圧下で前記蒸着用ルツボを加熱することにより、前記蒸着用ルツボの内壁表面に炭素を含む膜を形成することを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法

。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、

前記減圧下として、前記有機化合物が昇華する温度と、前記有機化合物が熱分解する温度とが共存する圧力にすることを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一において、

前記蒸着用ルツボとして、酸素濃度が0.1重量%以上であるルツボを用いることを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか一において、

前記有機化合物として、分子量が200以上1500以下であり、芳香族環を有する有機化合物を用いることを特徴とする、蒸着用ルツボの製造方法。